



幌呂小の教育目標
助け合う子ども
よく考える子ども
美しい心の子ども
健康な子ども
よく働く子ども

幌小だより

鶴居村立幌呂小学校学校便り
令和元年度 11
発行責任者
校長 三上 裕生

伝える言葉を大切に ~ 「話せる子ども」に向けて ~

令和2年が始まりました。昨年は幌呂小学校にとって開校100周年記念事業等があり、充実した素晴らしい年になりました。今年も皆様にとってよき年になる事を祈念すると共に、本年も教育活動にご理解とご協力をお願いします。



24日に行われたチャレンジスケート記録会、29日に行われた地域参観日には多くの保護者・地域の方の応援、参観をいただきありがとうございました。今年度はスケートリンクを中庭にも作っていただきましたが、スケートの基礎練習、カーリングなどの氷上遊び等で有効に活用しております。スケートリンク造成に関わっていただいた方々に感謝申し上げます。

さて、16日から3学期が始まりました。学校では、大きなけが、事故もなく、順調に3学期のスタートを切りました。始業式では、次の学年に上がるために力をつける大事な学期であることを伝え、本校の研究主題である「話せる子ども」についての話をしました。

今回は炎鵬という幕内最軽量の力士をモデルに創られたCMのメ

大逆転は、起こりうる。
わたしは、その言葉を信じない。
どうせ奇跡なんて起こらない。
それでも人々は無責任に言うだろう。
小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。
誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。
今こそ自分を貫くときだ。
しかし、そんな考え方は馬鹿げている。
勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。
わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。
土俵際、もはや絶体絶命。

ッセージを使いました。左の文章を上から読むのと下から読むのでは伝わる意味はまるで違います。一つ一つの文は同じでも順序が変わるとこんなに違うことから、高学年では文の順序に気をつけながら相手に自分の意図を正確に伝えること、低学年には正しく言葉

を使うことを意識しましょうと述べました。

学校でも気をつけていくところですが、ご家庭でも短い言葉だけで伝えるのではなく、時にはしっかり最後まで話すことを意識して聞いてみるのもいかがでしょうか。

新しい学習指導要領について①

小学校では令和2年度から、学校の教育内容が少し変わります。それは、教育の基準になる「学習指導要領」が改訂されたからです。「学習指導要領」というのは、文部科学省が定めるもので、およそ10年に一度改訂されます。子どもたちの教科書や時間割は、これを基に作られています。

これまで大切にされてきた「生きる力」を育む、という目標は、これからも変わることはありません。一方で、社会の変化を見据え新たな学びへと進化を目指します。

主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)

「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。

- ・一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」授業
- ・見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業
- ・友達と共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- ・自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業

カリキュラム・マネジメント

教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。

- ・学校教育の効果等を常に検証して改善する
- ・教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる
- ・地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

三つの力をバランスよく

育むことを目指します。

学んだことを人生や社会に生かそうとする

学びに向かう力、人間性

など 実際の社会や生活で生きて働く 未知の状況にも対応できる

知識及び技能

思考力、判断力、表現力など



2月の行事予定



日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
主な2月の学校行事予定等	休日	休日	幌呂中新生体験入学(小六・保護者)	全校朝会 本校新入生体験入学(高会)	全校学年5時間授業 外国語活動(高)	二校交流会(高) スポーツ少年団	外国語活動(高) 全学年5時間授業	児童委員会	学級修了写真撮影 スポーツ少年団	全校学年5時間授業 定時退勤日	全校スキー教室	週休日 わんぱくアドベンチャー	週休日 タンチョウフェスティバル	村研全体集会(給食有)	建国記念の日	特別時程5時間 外国語活動(中高)	特別時程5時間 外国語活動(中高)	特別時程5時間 外国語活動(高)												



今年は何年!

冬休み中の学習会...ふり返りタイム

12月26日と1月10日の2回、『ふり返りタイム』を行いました。夏休み同様に参加する児童が多く、縦割り班ごとに、冬休み中の宿題や2学期の復習に取り組みました。また、体づくりではミニバレー等の球技を行い、心地よい汗をかいていました。12月26日に行ったクッキングタイムでは、楽しみながらカレーライスづくりに挑戦しました。



中庭リンクが完成 ~初めての試み~

児童に、すぐにスケートをできるようにさせたいとの思いから、今年度は幌呂リンクとは別に、学校の中庭にリンクを造成しました。初めての試みで、試行錯誤を繰り返しての作業が大変でしたが、子ども達が授業中や休み時間に、喜んで滑る姿が見られています。リンク造成においては、幌育会リンク運営部・事務局の皆様をはじめ、鶴居消防署・鶴居村役場担当の方にもご協力をいただきました。誠にありがとうございました。



冬の安全教室 ~危険な雪道を体験~

1月16日、冬の安全教室を行いました。担当の先生のお話が終わった後、低・中学年が実際に雪道の氷面を歩き、歩く時の注意や危険箇所を確認していきました。学校前の歩道も除雪されていますが、滑りやすく、歩きにくい所もあります。これからの時期、急な暴風雪等も予想されますので、ご家庭でも冬型事故から身を守ることの大切さについて、改めてご指導をお願い致します。



チャレンジスケート記録会

1月24日にチャレンジスケート記録会がありました。当日は晴天に恵まれ、例年より気温が高い状態で行われました。子ども達は自分で設定した目標タイムと「頑張りたいこと」の達成を目指し、一生懸命滑走していました。幌育会リンク運営部を中心に、幌育会会員の皆様に撒水作業にご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。



2月生活重点目標【感謝の気持ちを行動であらわそう】

学 校	家 庭
1年間を振り返り、お世話になった人に対して感謝の気持ちを形で示そう。	いつもお世話になっている人に対して、感謝の気持ちを形で示そう。
お世話になった人に感謝の気持ちを届けよう。	自分でできることは自分でやろう。
1年間を振り返り、お世話になった物に対して感謝の気持ちを形で示す。	○自分の役割りをみなおそう。
○お世話になった物を大切にしよう。	自分からすすんで手伝おう
	自分以外の家族のためにできることをすすんで手伝おう。

2学期学校評価 各項目の成果と課題

2学期末に実施した学校評価の結果をお知らせします。保護者の皆様にはお忙しい折にご協力いただき、ありがとうございました。1学期の学校評価より数値が上昇・下降した項目をまとめました。

『自分から取り組む、自分で取り組む』のキャッチフレーズ 教職員の評価が大きく上昇し、キャッチフレーズを意識しながら学級経営を行っていることがわかります。また、児童・保護者の評価もわずかに上昇したことから、効果が表れ始めていることがわかります。今後も意識を高めた取組を継続していきます。

学習面 『家庭学習の質を高める工夫・定着させる取組』 教職員の評価が大きく上昇し、保護者の評価も上昇しています。これは担当係を中心に、長期休業中を含め、きめ細かな家庭学習の在り方を指導した成果と考えます。今後も家庭との連携を密に図り、家庭学習の取組を高めていきたいです。

生活面 児童の『毎月の目標を意識して生活している』 数値は下降していますが、前年度の学校評価と比較すると、数値自体は低くありません。今年度から毎月の生活重点目標を、学校・家庭別の表にして教室に掲示し、学校だよりも掲載していますが、今後は現在の取組に加え、全校児童に朝会等の場で啓発したり、各学級の指導をさらに促す体制を図ります。

健康面 教職員の『外遊びの声かけや共に遊ぶこと』 数値が下降しています。外遊びは1学期に比べ、冬期間で一緒に遊ぶ機会も減少していますが、健康的な体づくりのために、雪に親しむ等の外遊びを促し、児童と共に遊ぶことを心掛けます。

今後も、子ども達のより良い学校生活を目指した教育活動を実践しますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

令和元年度 12月実施 幌呂小学校評価 対象別数値結果・分析

観 点	対 象	番 号	評 価 項 目	1学期	2学期	評定	2学期 -1学期
全体	本年度の教育目標に基づいたキャッチフレーズの達成に向けて	教職員 1	「自分から」「自分で」を意識しながら学級経営を行っている	3.0	3.6	A	0.6
		児 童 1	「自分から」「自分で」を考えながら、生活することができた。	3.3	3.4	B	0.1
		保護者 問1	「自分から取り組む、自分で取り組む」を意識して学校生活を送っている	2.9	2.9	C	0.0
		教職員 2	「話せる子」を意識しながら学級経営を行っている	3.1	3.5	B	0.4
		児 童 2	自分の意見や考えを友達や先生に話せる(伝える)ことができた	3.5	3.6	A	0.1
		保護者 問2	お子様は学校で自分の意見や考えを友達や先生に話せる(伝える)ことができている	2.6	2.8	C	0.2
		保護者 問3	お子様は、毎日楽しく学校に通っている	3.4	3.3	B	-0.1
学習(知)	学習意欲を高める指導の工夫	教職員 3	子どもが意欲を持って学習に取り組めるための手立てや工夫が行っている	3.2	3.4	B	0.2
		児 童 3	学校の勉強は楽しい	3.8	3.6	A	-0.2
		保護者 問4	お子様は毎日楽しく勉強している	2.9	2.9	C	0.0
	学習の理解を深める指導の工夫	教職員 4	説明、板書、発問などを工夫したり、研究を意識して授業を行っている	3.0	3.3	B	0.3
		児 童 4	先生の授業はわかりやすい	3.8	3.9	A	0.1
		保護者 問5	説明、板書等が子ども達にとってわかりやすい	3.0	3.2	B	0.2
学習内容の定着を図る指導の工夫(家庭学習)	教職員 5	家庭学習の質を高める工夫をしている	2.8	3.3	B	0.5	
	児 童 5	自分で家庭学習に取り組んでいる	3.4	3.4	B	0.0	
	保護者 問6	家庭学習を定着する取り組みが行われている	3.0	3.2	B	0.2	
心(徳)	いじめ未然防止	教職員 6	変化の見られる児童に適切な対応をとっている	3.2	3.4	B	0.2
		児 童 6	困ったことをすぐだれかに相談できる	3.2	3.0	B	-0.2
		保護者 問7	担任、学校は相談しやすい	3.2	3.4	B	0.2
	一人ひとりに合った支援(特別支援教育の充実)	教職員 7	一人一人に合った具体的な支援を行っている	2.9	3.4	B	0.5
		児 童 7	先生は、困ったときに、自分に合ったサポートしてくれる	3.5	3.6	A	0.1
健康(体)	発達に応じた生活習慣の確立	保護者 問8	お子様に合った指導・支援がされている	3.4	3.3	B	-0.1
		教職員 8	生活の目標を意識した指導を行った	3	3	B	0.0
		児 童 8	毎月の目標を意識して生活している	3.9	3.3	B	-0.6
	健康な体作りを目指す取組の実施	保護者 問9	お子様は望ましい生活習慣を身につけようとしている	3	2.9	C	-0.1
		教職員 9	外遊びの声かけや共に遊ぶことを行っている	3.1	2.6	C	-0.5
		児 童 9	思いっきり体を動かして遊んでいる	3.8	3.7	A	-0.1
保護者 問10	心身ともにたくましさが増していると感じる	3.2	3.2	B	0.0		

評価基準範囲...評定A=3.5以上・評定B=3.0~3.4・評定C=2.9以下 青項目=1学期より上昇 赤項目=1学期より下降